

『密』であることと新社会人の先生方へエール！

新社会人になり、初めて先生になる日が、間もなくやってきます。「せんせ、あそぼー」と、寄ってくる子どもたち、かわいいですね。でも、幼児教育の現場はまさに「密」そのものです。ソーシャルディスタンス！と言っても、幼児は互いに1メートル離れて遊んではくれません。絡まりあ

て、関わりあって遊ぶのが幼児本来の姿です。先生やお友だちとのボディランゲージ(抱っこ、手をつなぐ、タッチ)が安心感・信頼感を生み、リアルに触れ合う中で自他の違いが分かり、自立につながっていきます。

両手を広げて抱っこをせがむお子さん、思うようにいかないことがあつて涙ぐむお子さん。そのようなお子さんを抱きしめてあげて、子ども同士の手と手を握らせてあげるのが、私たち保育者の仕事です。こうした「密こそが、子どもを育ててきたと言っても過言ではない幼児教育の現場に、この

の現場ですが、子どもたちの笑顔は最高です！先輩の先生たちと共に密度の濃い時間を過ごしましょう。みなさん、新人先生にエールを！



執筆者
新妻 英昭

学校法人新妻学園(いわき市)かしま幼稚園園長、一般財団法人福島県幼児教育振興財団監事

うつくしま 教育と子育ての“森”づくり

一般財団法人 福島県幼児教育振興財団

事務局 / 福島市飯坂町平野字東原4-10
TEL024-542-9321 FAX024-542-9319

